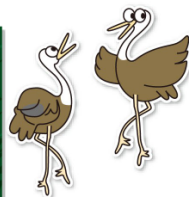


ツルの自然体験学習会

国土交通省中村河川国道事務所と協働で毎年夏と秋に開催している学習会。コロナ禍の本年度は開催自体が危ぶまれましたが、なんとか秋だけは開催することができました。

令和2年10月28日、四万十市立東中筋小学校の6年生と東中筋中学校の1年生の計21名が参加しました。

子どもたちは、中学校の教室で四万十市に飛来するナベツルの生態や行動などについて学んだ後、当会がツルの越冬地整備に取り組んでいる江ノ村地区で3つの野外学習をしました。



①デコイの設置

ツルを呼び寄せるためのデコイを地面に固定し、土台を枯れ草などで覆い隠しました。



設置したデコイは、本年度リニューアルしたもの。本物そっくりです！



②ねぐらカメラの紹介

ツルは水を張った水田もねぐらとして利用することが知られています。江ノ村の水田もねぐらにしてみようという試験的に水を張り、ツルの利用状況を確認するための自動撮影カメラを設置していることなどを学びました。



③餌場の水生生物の学習

用水路で捕まえた生き物を観察しました。この水路は、国土交通省が、魚などが中筋川と水田地帯を行き来できるように改良した樋門につながっています。子どもたちは、豊かな自然環境が再生していることを体感できたようです。



学習会を終えて

「ツルを見たことがある人？」の問いかけに、子どもたち全員が手を挙げたのには驚きと共に、長年続けてきたかいたと大きな喜びを感じました。また、報道関係の方にも多数来ていただき、新聞やテレビで紹介していただきました。皆さんの協力があってこそ活動を継続し、未来のツルの守り手を育てることができています。(事務局)

ツルを見る時のお願い



ツルは非常に警戒心が強い鳥ですので、200～300m離れた場所から双眼鏡などを使って観察して下さい。写真撮影は望遠レンズを使いましょう。

四万十つるだよりに関するお問合せ

四万十つるの里づくりの会事務局

〒787-0029 高知県四万十市中村小姓町46 中村商工会議所内
tel: 0880-34-4333 / fax: 0880-34-1451
mail: nakacci2@mocha.ocn.ne.jp

四万十つるの里づくりの会
人と自然の共生する
ツルの里をめざして

Vol.26 ●発行日/令和3年1月25日 ●発行/四万十つるの里づくりの会
<http://www.nakamura-cci.or.jp/doc/tsuru/>
※本誌掲載のツル類の写真は、当会会員のタ部員一氏、国土交通省中村河川国道事務所からご提供いただいたものです。

四	万	十	つる
つ	る	だ	より

デコイの効果を確認できました



デコイと過ごした1羽(12月28日) ※右から3番目が本物、それ以外はデコイです。

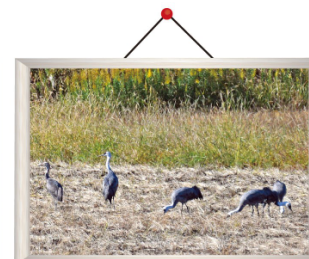
本年度はナベツルが5回、四万十市にやってきました。最初は9羽が例年と同時期である10月28日に飛来し、11月4日まで当地で羽を休めました。その後、しばらく姿を見ることができませんでしたが、11月10日に6羽、13～15日に12羽、22～26日にも12羽が飛来しました。そして、最後に1羽が11月30日に飛来し、大晦日の12月31日まで滞在しました。

最後の1羽は、なんと私たちが子どもたちと一緒に江ノ村地区に設置したデコイ(ツルの模型)めがけて降りてきました。そして、約1カ月間そこから動かず、デコイと一緒に過ごしました。

これまでデコイの効果は明らかとはいえませんが、これでツルを降り立たせる効果が証明されました。今後は、デコイをどこに、どのように設置するか工夫していきたいと思います。デコイの傍で本物のツルを見かけても、遠くから見守って驚かせないようにしてくださいね。



本年度初確認の9羽(10月28日)



11月10日の6羽



飛翔する12羽(11月22日)